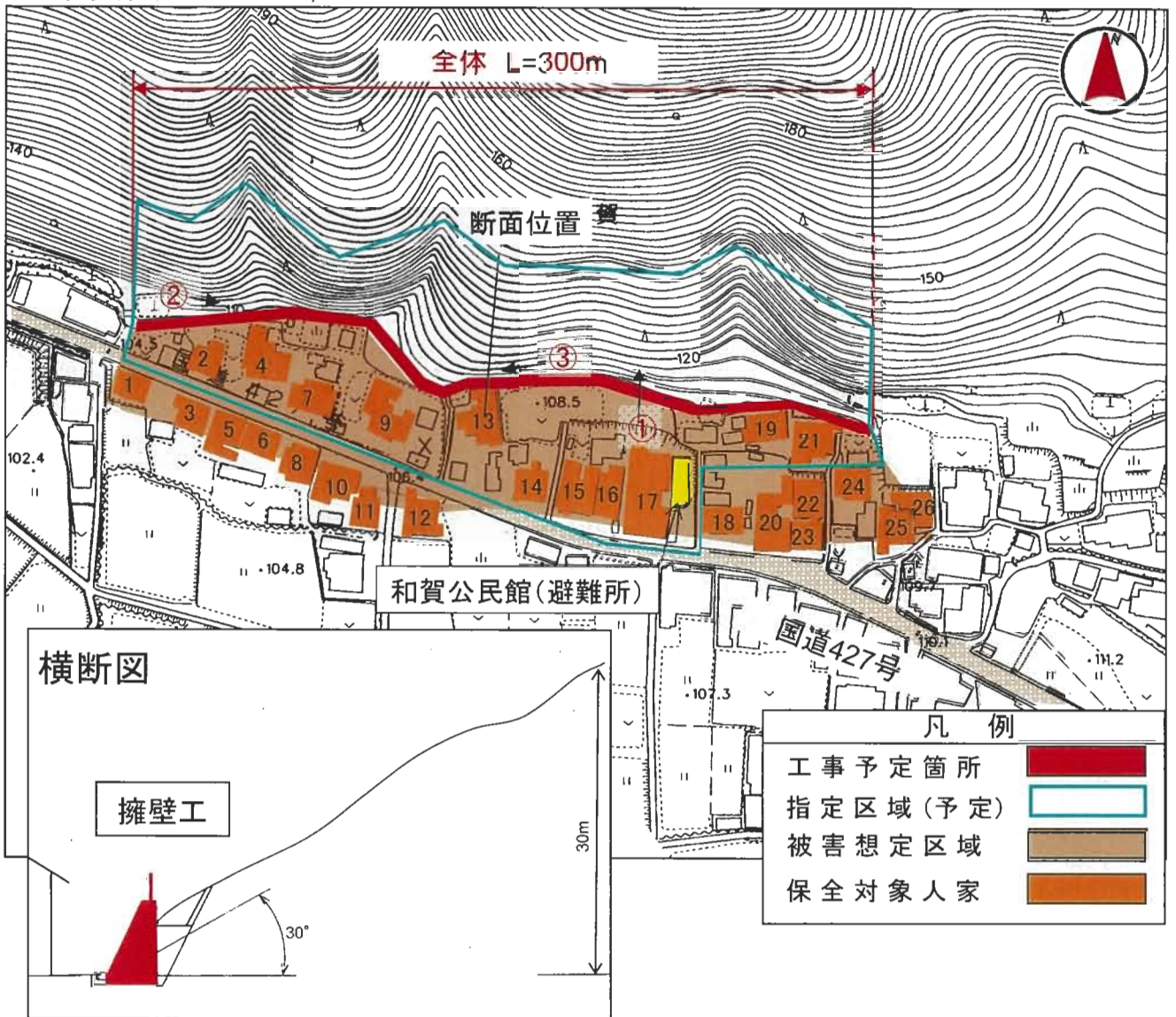


投資事業評価調書（新規）

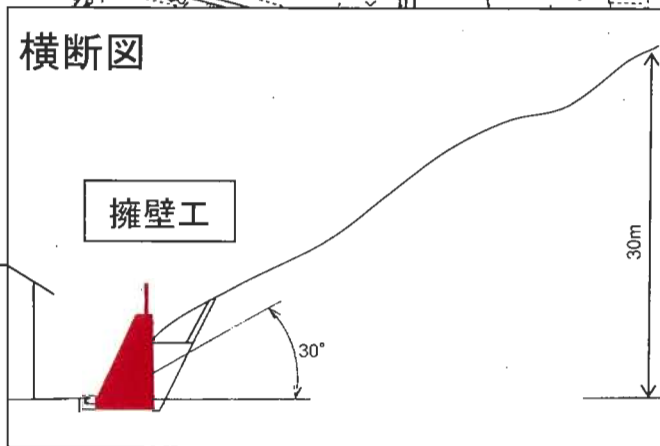
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 尾崎 幸忠 （井上 尊詩）	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.3億円
		急傾斜地崩壊対策事業 わが 和賀地区	朝来市 山東町わが 和賀	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市 山東町 和賀			H20	H20	H23
事業目的			事業内容		
<p>急傾斜地崩壊対策</p> <p>当地区は平成18年の7月豪雨で崩壊土砂が家屋に達するなど、斜面が不安定な状態である。今後も斜面崩壊による危険性が高いため、擁壁工等の防災対策工事を行い、地域住民の人命・財産を守る。</p>			<p>急傾斜地崩壊対策事業（防災工事）</p> <p>擁壁工 L = 300m</p> <p>（負担割合 国 : 47.5% 県 : 47.5% 地元 : 5.0%）</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 当地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。 斜面には、表層崩壊跡や風化が進行した岩の露頭が見受けられるほか倒木も多く、斜面崩壊の危険性が高い。 保全対象は、人家26戸、公民館（避難所）、国道427号（緊急輸送路）などがある。 斜面が荒廃し崩壊の危険があることから住民は不安を募らせており、地元から防災対策の要望が出ている。 平成19年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。 				
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家26戸、公民館（避難所）、国道427号（緊急輸送路）などがあることから事業効果は高い。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向けた地元からの要望があり、市の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁工の施工に当たっては、法面掘削を法裾の最小限に抑え、既存斜面の緑を残すことで環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 当地区は、土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。 保全対象は人家26戸、公民館（避難所）、国道427号（緊急輸送路）などがあるが、当斜面は平成18年の7月豪雨で崩壊土砂が家屋に達するなど、今後も斜面崩壊による危険性が高いため、早急な対策が必要である。 				

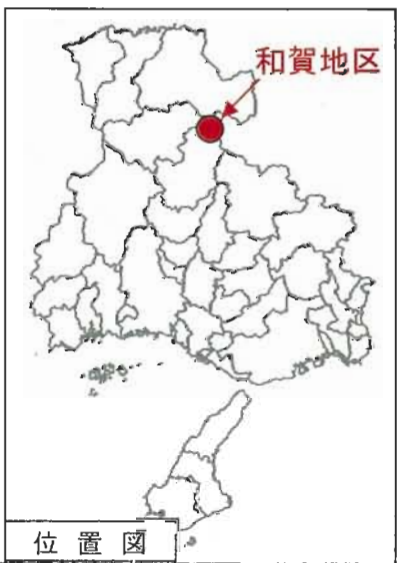
平面図 S=1:2,500



横断図



位置図 S=1:50,000



箇所名	和賀地区
-----	------

急傾斜地崩壊対策事業 【和賀地区(朝来市)】



	H20	H21	H22	H23
詳細設計				
擁壁工				

急傾斜地崩壊対策事業【和賀地区(朝来市)】



①斜面荒廃状況



②H18年7月豪雨による斜面崩壊状況



③斜面状況